

としょかん つうしん

5月号

5月号のテーマは「おはよう・おやすみ」です。朝、元気をもらえるような、そして夜には、心地よい眠りにつけるような、そんなおすすめの本を集めてみました。

「おやすみなさい おつきさま」

年少向け

マーガレット・ワイズ・ブラウンさく
クレメント・ハードえ せたていじやく
評論社

一日の終わりにベッドに入って、部屋の中にあるものすべてに「おやすみなさい」を告げていきます。ページをめくるごとに、窓の外で少しずつ動いていく月と、じょじょに暗くなる部屋が、眠りにつく前のおだやかな時間をあらわしています。まわりへの感謝の気持ちがいっぱいになる絵本です。



「14ひきのあさごはん」

年中向け

いわむらかずお作
童心社

ねずみのおじいさん、おばあさん、おとうさん、おかあさんそしてきょうだい10ひき。14ひきの大家族のお話です。みんなで力を合わせて生活していく姿がほほえましい。シリーズの中で最初に読みたい絵本。みんなそろって食べるあさごはんは、身体だけでなく心にも栄養を満たしてくれそうです。

「まよなかのだいどころ」

年長向け

モーリス・センダックさく じんぐうてるおやく
富山房

真夜中に目を覚ましたミッキーが台所へおりにいくと、そこではパン屋さんたちが夜も寝ないで朝のケーキを焼いています。ミルクと間違われたミッキーは、そこでちょっとお手伝い。台所にニューヨークの街並みをうつしだし、マンガの構成も取り入れた絵本。その不思議でゆかいな世界に、読む人の想像もふくらみます。